

中央区医療介護サポートセンター便り

新型コロナウイルス感染症対策 臨時第4号

【発行】2020年5月 中央区医療介護サポートセンター

【住所】神戸市中央区橋通4丁目2-1 3F 中央区医師会内

【TEL】078-351-2270 【FAX】078-351-2271

【担当】辻村・羽原

ありがとう

皆様には、いろいろとご心配やご苦労が続くなか、大変、ご尽力をいただき、深く感謝申し上げます。今回も、困難な時期に対応していくための情報をお届けします。ご存知のこともあると存じますが、少しでも、お役に立てていただければ幸いです。



§ 新型コロナウイルス感染症についての情報

①「新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安」が改訂されました

神戸ケアネット>臨時のお知らせ>お知らせ5月11日「新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安の改訂について」または 厚生労働省事務連絡 <https://www.mhlw.go.jp/content/000629072.pdf> こちらから、確認することができます。

②介護者が新型コロナウイルスに感染した高齢者・障害者のための一時受け入れ施設が設置されました

神戸市ホームページ>市政情報>記者発表資料>記者発表2020年5月20日(水曜日)>介護者が新型コロナウイルスに感染した高齢者・障害者のための一時受け入れ施設を設置しました こちらから、確認することができます。

§ 多職種連携で取り組む感染予防～今だからこそ、多職種間での連携の必要性～

在宅医療・介護は、一人の患者・利用者に多くの支援者がかかわります。そのため、すべての関係者間で感染予防に関する正しい知識を共有し、患者・利用者の生活・環境に合わせた、個別の感染対策を共通認識し、対応していくことが求められます。



①在宅での感染対策における多職種連携

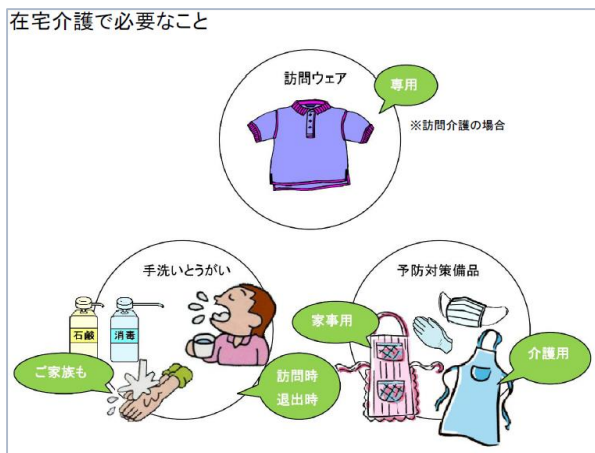
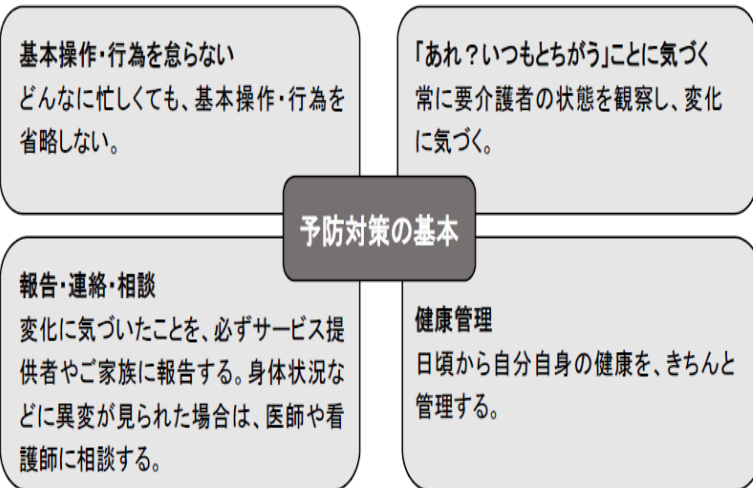


在宅では多くの専門職が訪問し支援を行います。利用者の生活の場は、個別の環境であり、そこで行われる感染対策については、支援者間で、共通した認識がとて大切になってきます。共有しておくべき情報、報告・連絡・相談の方法や活動時の感染対策に係るルール等、個別支援内容とともに多職種で改めて確認しておくことが重要です。

ウイルスを「もちこまない」「ひろげない」「もちださない」を意識した話し合いが大切です。(例:支援者の荷物置き場、ガウン・エプロンの着脱場所など)

②在宅での感染対策のポイント

感染予防対策の基本については、よくご存じの内容と思いますが、支援者間で感染対策について話し合うときにもう一度ご確認ください。



引用:茨城県「在宅介護のための感染症予防ハンドブック」より

サポートセンターからのお知らせ

「毎日体調チェックシート」を作成し、ホームページに掲載しております。医療介護サポートセンターのホームページ(<https://kobe-iks.net/>)>医療・介護関係者の皆さま>中央区>お知らせから印刷できます。

動画「訪問介護職員のためのそうだったのか!感染対策」の中でも、体調管理の大切さが伝えられていました。ぜひ、ご活用ください。

S 個人防護具の取扱いについて

標準予防策(スタンダード・プリコーション)の具体的な方法として、手洗い、手指衛生、ディスポ手袋の着用、マスク、エプロン等の個人防護具の着用、感染制御の環境整備などがあります。

今回は、個人防護具のなかのディスポ手袋、エプロンの正しい取扱いについてお伝えします。

個人防護具の着脱には手順があり、感染予防のためには手順を守ることが大切です。ご確認ください。

【エプロンの着脱方法】

エプロンの正しい付け方



手指衛生



首の部分を開き
首に掛ける

エプロンの前を開く



リボンを
腰の後ろで結ぶ



着用完了

エプロンの正しい外し方



首の後ろの
紐を切る



前あてを
前に垂らす



裾を手前に
持ち上げる



腰の後ろの
リボンを切る

汚染面を中に折り込み
三つ折りにする



汚染した面を
中表にして破棄



手指衛生

【ディスポ手袋の着脱方法】

グローブの正しい付け方

箱からグローブの
一部をつまむ

片方の手に装着

グローブを装着した手で
もう1枚を引き出す

もう一方の手も
装着



手首まで覆われて
いるか確認する!!

装着完了

グローブの正しい外し方



手首部分をつまみ
中表にして
グローブを脱ぐ



中表に脱いだ
グローブを握る



2枚の手袋ともに
汚染面を中表に
一塊にして脱ぐ

破棄し、
手指衛生を
実施

